

18. 施設におけるAi検査の実際：救急CPA

研究の概要と目的

当院は患者の死因究明のために死後画像検査(Ai)を施行しています。様々な状態におけるご遺体のAiを施行しており、その件数は毎年100件を超えます。改行 研究会において当院におけるAi-CTの撮影時に注意すべき点、死後画像の特徴を報告することにより、Ai件数の少ない他施設の参考になり正確な読影能力の習得を目的とします。

研究の方法

当院におけるAi施行までの流れ、CT撮影方法、注意すべき点を説明します。さらに過去Ai-CTを施行した臨床画像より死後変化、心肺蘇生術後変化、死因の特徴が現れている患者症例について報告します。

本研究の参加について

過去Ai-CT検査を施行した、患者画像（10例程度）およびその患者の生存時のCT画像を使用します。新たな検査や費用の負担が生じることはありません。使用するCT画像は個人が特定されない形で厳重に扱います。使用する患者画像は故人のものになりますので、故人の画像を使わないで欲しいと希望されるご家族の方は末尾の問い合わせ先までご連絡下さい。

調査する内容

過去Ai-CT検査を施行した、患者画像およびその患者の生存時のCT画像のみを使用します。患者ID・氏名・生年月日・検査日等の個人情報、一切記載せず画像のみを使用するため個人情報は特定されません。

調査期間

研究期間：2012年1月1日～2018年4月1日

研究成果の発表

2018年5月26日に国立病院機構九州医療センターで開催される、九州国立病院機構診療放射線技師会第4回CTセミナーにて施設紹介として報告します。

研究代表者

放射線科 竹尾晃一

当院における研究責任者

放射線科 竹尾晃一

問い合わせ先

放射線科 竹尾晃一

TEL: 096-353-6501